

群馬大学医学部医学科の紹介

群馬大学大学院医学系研究科
細菌学 富田治芳

- 医師という職業
- 群馬大学医学部医学科の特徴
- 女性医師のサポート
- 群馬大学の入試

医師として活躍する場

臨床医（勤務医・開業医）

内科・外科・小児科など
一般の市中病院や医院で
患者さんを診て治療する




研究医（基礎系と臨床系）

基礎医学（解剖学・細菌学・生化学・法医学など）
や臨床医学（内科・外科・小児科など）について大
学や附属病院、研究機関で研究して発表する

行政医

厚生労働省や保健所などで医療行政に携わる

医師国家試験に合格！



医師免許
取得できた！

医師として
活躍するぞ！

一人前の医師になるには？



診療科は
何にしよう？

どこの病院
で働こう？

まず、2年間の臨床研修

研修医です！
診療科はまだ
決まっていません。

医師として
さまざまな診療科を
2年間研修します！

群馬県での
初期臨床研修は
14病院で可能！

2年目

1年目



診療科が決まりました

内科医になりました。
糖尿病について
詳しく勉強したいです。

いよいよ診療科を決定し、
専門医取得へ！

5年目

4年目

3年目

皮膚科に決定しました。
A病院でたくさんの経験を
積みたいです。



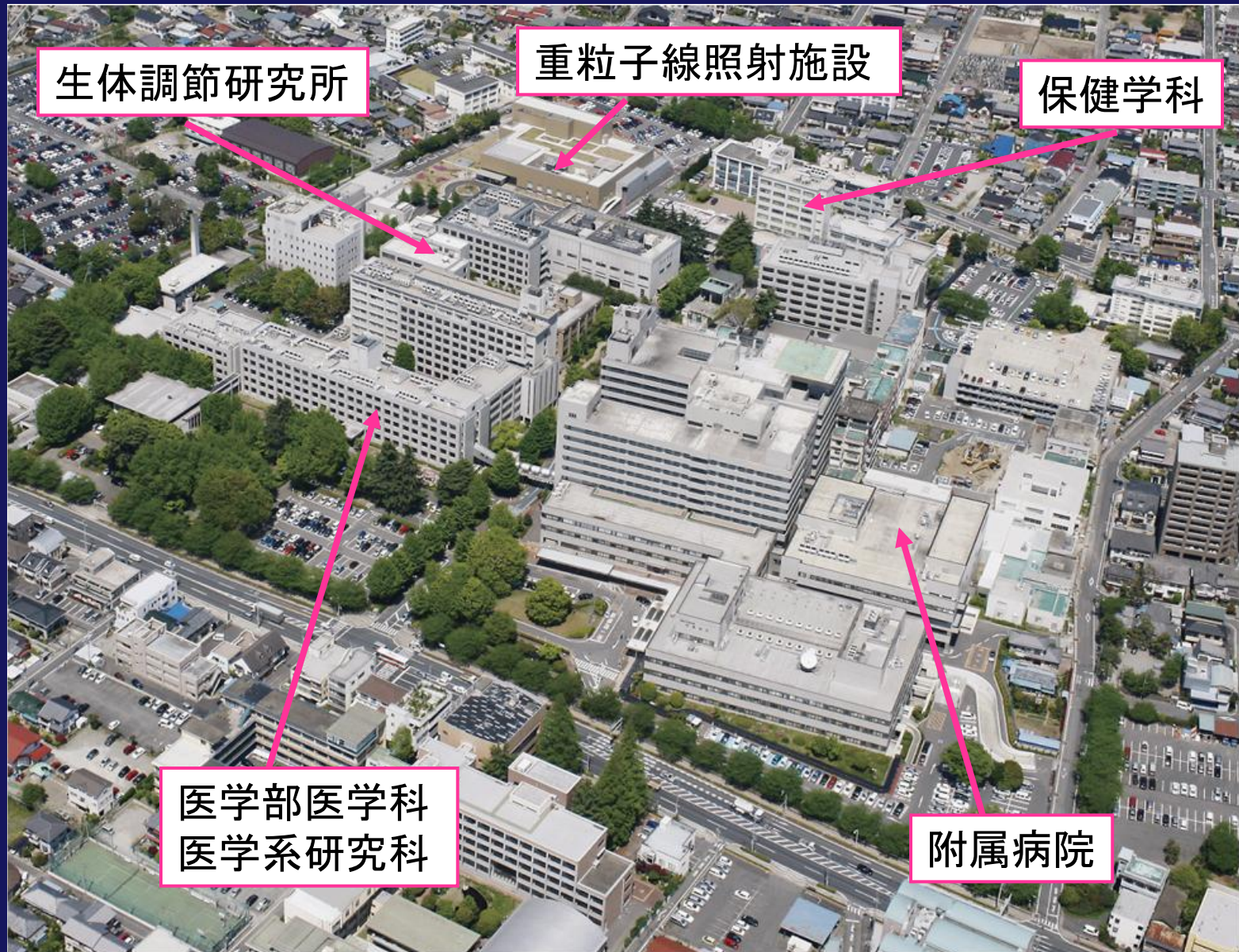
医学は日進月歩

医師である以上、一生学び続けます

群馬大学 医学部 医学科 について



群馬大学 昭和キャンパス



生体調節研究所

重粒子線照射施設

保健学科

医学部医学科
医学系研究科

附属病院

このような教育を行ないます (カリキュラム・ポリシー)

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、
かつ社会の中で人を対象として行われ
るものであることを理解し、科学的知
(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)
の3つの面(SES)にわたって生涯自己
研鑽する力が付く教育

このような教育を行ないます (カリキュラム・ポリシー)

- 1、自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身に付く教育
- 2、自然科学、医学、医療、人間と社会にかかわる知を習得し、それを実践でいかす力が身に付く教育
- 3、新たな課題にも対応できる問題解決能力が身につき、リサーチマインドが育つ教育
- 4、生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育

1年	2年	3年	4年	5年	6年
----	----	----	----	----	----

医学の基礎・臨床の知識・技能を学ぶ

教養教育・専門前教育

生命医学・応用医学 臨床実習

卒業試験
・医師国家試験に向けて

教養科目	解剖学	細菌学	
生物学	生理学	寄生虫学	臨床医学
	生化学	ウイルス学	
		病理学	
		法医学	
		検査学	

倫理観・責任感の育成とチームのリーダーとしてふさわしい人格を身につける

医の倫理学	医療の質と安全
医学医療概論実習	チームワーク実習
チーム医療実習	

問題解決能力・リサーチマインドを涵養する

学びのリテラシー	臨床基本手技実習
	臨床推論TBL
医学研究発表	選択基礎
チュートリアル	医学実習

(希望者)
MD-PhDコース



解剖実習 2年生 9月から12月まで



時間割(2年生のある週)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:40~9:40	医学英語	組織学試験	解剖実習	解剖実習	解剖学講義
9:50~10:50					解剖実習
11:00~12:00					
13:00~14:00		組織学試験	解剖実習	画像診断講義	解剖実習
14:10~15:10					
15:20~16:20				解剖実習	
16:30~					



解剖はまさに体力勝負!!! 実習は8時近くまでかかることもある上に、毎日の予習復習が大変だけど、その分得られることも大きいです

1. 心臓超音波検査



・ 左室基部寄りの中隔～下壁
→ 肥厚化＋瘤状化



・ モザイクパターン
→ 左室から右室へのシャント血流

- ・ 右・左房とも拡大
- ・ 三尖弁での弁輪の拡大・閉鎖不全

MD-PhDコース

学生時代に最先端の研究をする学生もいます

MD (Medical Doctor 医師):

医学科(6年間)を卒業して医師免許を取得(医学士)

PhD (Doctor of Philosophy 博士):

大学院の博士課程(4年間)を修了(医学博士)

群馬大学大学院医学系研究科博士課程との連携

MD-PhDコース

医学科在学中に基礎系の教室に所属し、研究活動等をおこない、これを大学院の1年の過程として認定する。活動は医学科の講義・実習など終了後(夕方から夜)が中心

群馬大学の大学院に進学した際には**3年で卒業可能**

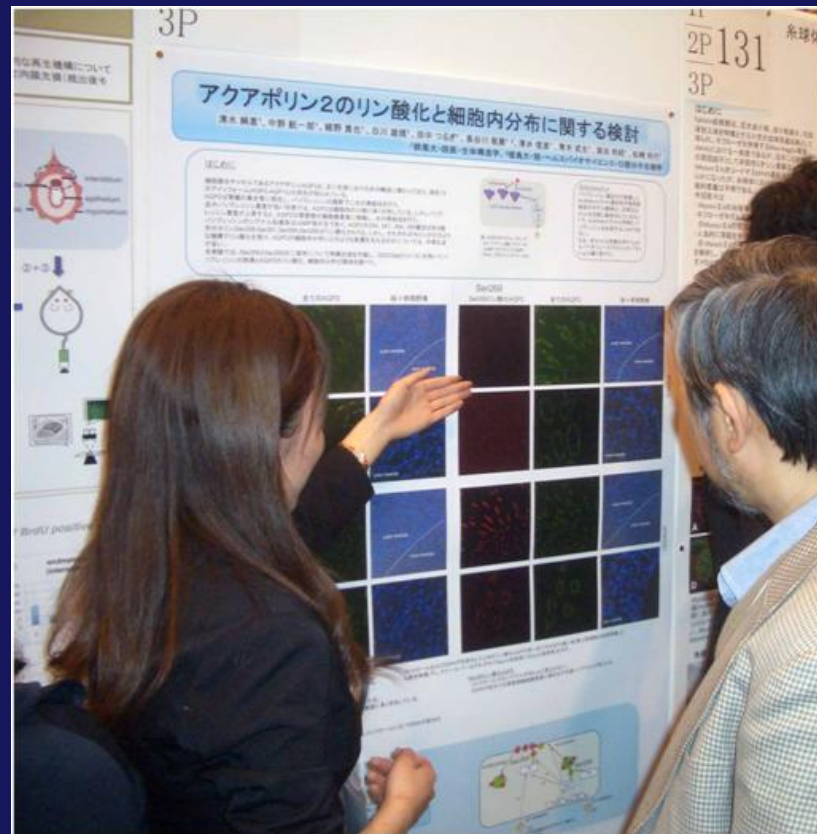
医学研究に興味のある学生を支援、若手研究医の育成

MD-PhDコース

学生時代に最先端の研究をする学生もいます



培養細胞での実験



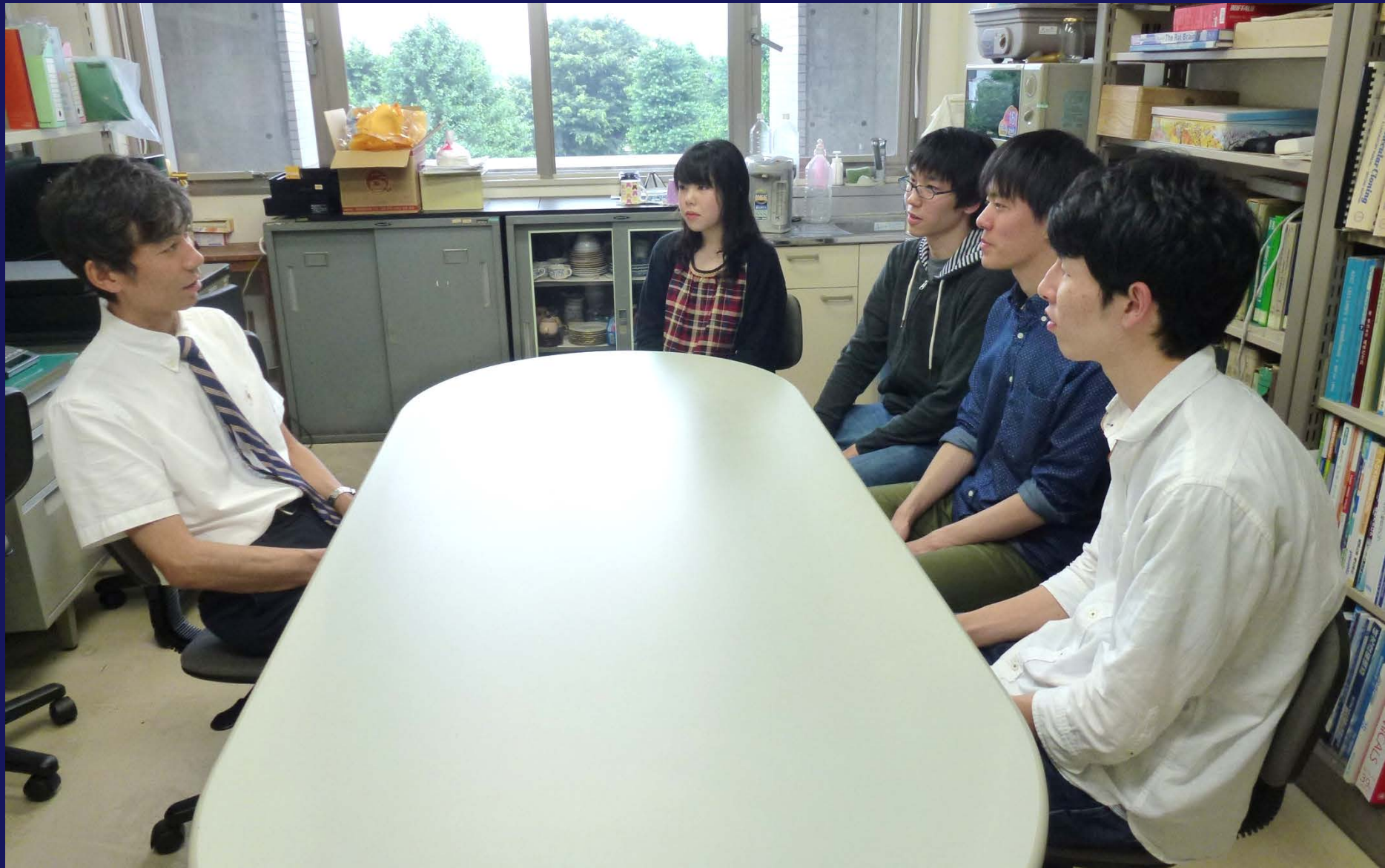
研究成果を学会発表

チューター制度で学生をサポート

- 新生 3～5 人を 1 人の教授が卒業まで継続的に担当する
- 入学時のガイダンス、相談
- 必要に応じて保護者と連絡
- 再試験の申請や確認
- 修学時の色々な問題・悩みの相談
- 卒業後の研修先への推薦状の作成

チューターは、学生の側に立った「保護者」的な役割

チューター制度



女性医師のサポート

群馬大学は女性医師をサポートします

- ・群馬大学1年生(平成29年度一般・推薦入学者)における女性の割合は42%(45名/108名)
- ・医師国家試験合格者における女性の割合は30%を超える。
- ・我が国における女性医師の割合は20%に満たず、世界各国と比較するとまだ低い水準である。
- ・女性医師の就業率が働き盛りの30代から40代にかけて低下することは、我が国特有の現象である。

群馬大学は女性医師をサポートします

群馬大学医学部附属病院
女性医師等教育・支援部門



出産・育児等による女性医師の業務
継続をサポート
一時離職者の無理のない復帰を支援



女性医師支援プログラム
院内保育園(ゆめのこ保育園)

ゆめのこ保育園<院内保育所>



群馬大学は女性にも働きやすい環境づくりに
力を入れています

群馬大学の医療安全への取り組み

全国に先駆けて平成29年度より大学院に 「医療の質・安全学講座」を新たに開設

医療の質・安全学講座教授候補者の公募について(依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本研究科医療の質・安全学講座の新設に伴い、担当の主任教授を選考することになりました。ついては、貴学及び関係機関等において適任者がおられましたら、下記の書類を添えてご推薦くださいますようお願い申し上げます。

なお、平成29年4月1日付けで、本研究科に開設された「医療の質・安全学講座」は医療の質・安全学に関して大学院教育を行う講座であり、併せて、WHO等の国際機関との緊密な連携を図ることを期待されております。大学内外の基礎、臨床分野とも協力しながら、医療の質・安全学を協調的に実践できる人材を募集いたします。開設初代の担当者としてご着任いただき体制整備から取り組んでいただく必要があることから、既に国内外において当該領域に関する多くの実務、管理経験をお持ちであり、医育機関、医療機関で教授、院長、副院長等の役職を経験されておられる方の応募も期待しております。

また、医学部附属病院においては、医療の質・安全管理部において附属病院の医療の質・安全に関する業務を実践しておりますが、今回募集する「医療の質・安全学講座」教授は、大学院教育、医学部医学科学生教育に加え、医学部附属病院の医療の質・安全に関しても管理あるいは実務において医療の質・安全管理部職員と連携していただく予定でありますことを申し添えます。

このような人材を育てます (ディプロマ・ポリシー: 学位授与の方針)

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、
かつ社会の中で人を対象として行われ
るものであることを理解し、科学的知
(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)
の3つの面(SES)にわたって生涯自己
研鑽を続けることができる者

このような人材を育てます (ディプロマ・ポリシー: 学位授与の方針)

- 1、医師にふさわしい倫理観と責任感を有し、医療チームの中で医師として適切な行動をとることができ、他者と信頼関係を築ける者
- 2、医師、医学研究者、医学教育者又は医療行政担当者となるために必要な知識を身に付けるとともに、新たな課題にも対応できる問題解決能力を修得した者
- 3、医学知識に裏打ちされた臨床と研究の能力を修得し、患者により良い医療を提供する能力と医学や医療の発展に貢献する意欲を備えた者

群馬大学の入試

このような人を求めています (アドミッション・ポリシー: 入学者受入方針)

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、
かつ社会の中で人を対象として行われ
るものであることをふまえ、医学生として
科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技
能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって
自己研鑽に励むことができる人

このような人を求めています

(アドミッション・ポリシー: 入学者受入方針)

- 1、豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身につけることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人
- 2、医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人
- 3、本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

このような人を求めています (アドミッション・ポリシー：入学者受入方針)

＜入学に際し必要な基礎学力＞

特に日常的な学習が十分に行われていることが望ましいのは、国語と英語である。専門科目を学ぶために必要となるのは、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bであり、理科では、受験科目にかかわらず、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）である。

医学科の入試の種類（多様な選抜方法）

各選抜方法の概要

選抜方法 募集人数	推薦入試	前期日程	編入学
	35(10*)名	73(6*)名	15名
入学学年	1年次	1年次	2年次
ポイント	各高校から5名推薦	センター試験	学士や大学生
個別試験	小論文(和文) 小論文(英文)	数学 理科(物理・化学) 小論文	一次試験 小論文(和文) 小論文(英文)
面接	面接 (集団面接・40分間・ 複数の面接官)	面接 (集団面接・25分間・ 複数の面接官)	二次試験 (面接)

*地域医療枠予定人数(詳細は「入学者選抜に関する要項」を参照)

推薦入試 平成29年度(平成29年4月入学)

↓ 出願期間 平成28年11月1日-6日必着

↓ 学力検査等 11月19、20日

↓ 合格発表 12月5日

平成30年度入試については
「入学者選抜に関する要項」でご確認ください。

一般入試 平成29年度(平成29年4月入学)

↓ 大学入試センター試験(平成29年1月14日、15日)

↓ 出願期間 1月23日-2月1日

↓ 2段階選抜実施(約3倍)

↓ 前期個別学力検査等 2月25日、26日

↓ 合格発表 3月7日

平成30年度入試については
「入学者選抜に関する要項」でご確認ください。

前期（73名） 配点

試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
センター試験	100	50*		100	100	100			450
個別学力検査等				150	150		150	※	450
計	100	50*		250	250	100	150		900

大学入試センター試験の各教科につき傾斜配点（x 0.5）

* の教科はどちらかを選択する

※ 面接は総合判定の資料とする（集団面接・25分間・複数の面接官）
 なお、面接時間は状況により変わる場合があります。

地域医療枠とは

政府の緊急医師確保対策の一環

群馬県の医療事情

人口10万人当たり医師数214.9人

(全国30位 全国平均226.5人)

上位は京都、徳島、東京 300人弱

最下位は埼玉 150人に満たない

群馬県内の医療圏別では 人口10万人当たり医師数

前橋地区 419.5人

吾妻地区 144.9人 太田・館林 136.0人

群馬県内 診療科別では

外科、産婦人科、脳神経外科医師数の減少が大きい

群馬大学の「地域医療枠」

- ・群馬県から**修学資金**を貸与
 - 月額15万円+初年度入学料(6年間で一千百万円以上)
- ・出願区分として「一般枠」、「地域医療枠(併願)」がある
- ・まず、**出願区分に関係なく合否判定**→合格圏内にいる者の中で、地域医療枠出願者の上位**10名程(推薦)**、**6名程(前期)**を「地域医療枠」として合格(予定人数、詳細は「入学者選抜に関する要項」を確認)。合格圏内にいて、地域医療枠に入れなかった場合は一般枠で合格。
- ・修学資金**返還免除**
 - 群馬県が定める特定病院(県担当者と相談して選択)で卒業後10年間勤務すれば返還免除

群馬県の医療に貢献する人を確保

群馬大学の地域医療枠の特色

- ・対象者は群馬県内出身者（詳細は平成30年度「推薦入試学生募集要項、一般入試学生募集要項」の対象者要件でご確認ください）。
- ・卒業後に働く特定病院は、県の担当者と相談の上、被貸与者が選択できる。
- ・返還免除には、卒業後10年間は県内の特定の病院での従事が必要となるが、疾病・災害・出産・育児などの事情、さらに大学院進学・海外留学の希望があれば、その間は一時的に病院勤務を離れることは可能で、復帰後に残りの年数を働けばよい（通算で10年間）

※「県内の特定病院」には、**群馬大学医学部附属病院**のほか、次の病院が予定されています。

群馬県立心臓血管センター、群馬県立がんセンター、群馬県立精神医療センター、群馬県立小児医療センター、前橋赤十字病院、公益財団法人老年病研究所附属病院、独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院、群馬県済生会前橋病院、前橋協立病院、独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター、医療法人社団日高会日高病院、公立碓氷病院、独立行政法人国立病院機構渋川総合医療センター、公立藤岡総合病院、藤岡市国民健康保険鬼石病院、下仁田厚生病院、公立富岡総合病院、公立七日市病院、吾妻広域町村圏振興整備組合立中之条病院、原町赤十字病院、西吾妻福祉病院、独立行政法人国立病院機構沼田病院、利根中央病院、伊勢崎市民病院、社団法人伊勢崎佐波医師会病院、桐生厚生総合病院、SUBARU健康保険組合太田記念病院、館林厚生病院、協力型臨床研修病院、へき地診療所、二次救急輪番病院

お待ちしております

